

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなでつくる未来型図書館 ニュースレター vol.18

あけましておめでとうございます！令和12年（2030年）の未来型図書館開館に向け、本年7月には、いよいよ施設の整備・運営を担う事業者が決定する予定です。引き続き、市民の皆さんと共に、未来型図書館づくりを進めてまいります！

未来型図書館等複合施設の

事業の進捗について

整備・運営事業を実施する事業者を公募型プロポーザル方式により選定するにあたり、12月23日に「募集要項」等を市ホームページにて公表しました。

事業者選定に向け、令和8年7月には、提案内容の一部を市民の皆さんに公開する「公開プレゼンテーション」の開催も予定しています。今後の詳細は、市ホームページ等にて随時公表予定です。

人材育成講座

11月に、第1期子ども学芸員養成講座と第4期子ども司書養成講座が終了し、8名の子ども学芸員と16名の子ども司書が新たに誕生しました！

今回が初開催の子ども学芸員養成講座では、市の貴重な資料を収集・調査・研究する学芸員のお仕事を体験しながら学び、子ども司書講座では、司書のお仕事体験や未来型図書館でやってみたいイベントを企画するワークショップにも取り組みました。

今後はそれぞれクラブとして活動を継続しながら、未来型図書館の開館に向けた取り組みにも楽しくチャレンジしていきます！



12月9日、23日に公立小松大学で

未来型図書館の広報PRを考える学生ミニリビングラボを開催しました。

今回は学生自らが「学生アンバサダー」になったと仮定して、未来型図書館を“伝える”PR企画を考えました。

今年度の「未来型図書館を共に創る！こまつリビングラボ」は令和8年1月よりスタートします！

詳細は市ホームページよりご確認ください！



リビングラボ

みんなでつなぐ未来型図書館 リレーエッセイ

第18回目は小松市立博物館 津田館長です！

芦城公園の入口にあった博物館は、当初は未来型図書館が完成したのちに解体される予定でしたが、一昨年の能登半島地震で被害を受け先行して解体されています。解体工事が進み、公会堂とともに慣れ親しんだ建物の面影がなくなっているのを見ると、未来型図書館の建設に向かって進んでいることがあらためて感じられます。

さて、博物館に関連した未来型図書館に向けた取り組みとして、8月から11月にかけて4回にわたり子ども学芸員養成講座が行われました。子どもたちが学芸員の仕事の一部を楽しみながら体験し、その関心を深めてもらおうというわけで、子どもたちは、普段は入ることのできない収蔵庫に入ったり、美術館で見た展示品の中から興味をもった資料やその作者について調べ、解説パネルを作ったりしました。子どもたちには、調べることや伝えることの面白さなどを感じてもらえたのではないかと思います。次年度も講座の開催が予定されており、未来の学芸員が輩出されるような場になればと思います。



津田 隆志 館長

お知らせ

note インスタグラム 市HP

未来型図書館noteでは、様々なコラムを掲載中！

1月より開催予定の「こまつリビングラボ」の様子も掲載予定です。ぜひご覧ください(^_^)くいいね！も励みになります！



みんなでつくる、みんなでつなぐ未来型図書館へ